

「ひろしま未来教師セミナー」の第7回の受講者のアンケート結果及び感想等をお知らせします。

【アンケート結果】

(3月12日 95名回答) ※ 4:とても 3:まあまあ 2:あまり 1:まったく

<満足度>	4 : 83人	3 : 10人	2 : 1人	1 : 1人
<理解度>	4 : 84人	3 : 9人	2 : 1人	1 : 1人
<今後の見通し>	4 : 83人	3 : 11人	2 : 0人	1 : 1人



【受講者の感想】

【教師を目指す皆さんに期待すること】

- 人を育てることは大きな責任があるため、強い志を持って職務にあたらなければならないと思った。(大学2年)
- 子どもたちは、教師の姿をよく見ているため、教師が自分を磨き続け、成長し続けようとするれば、子どもたちの意識や行動も変わってくると思った。教師には、それほどの影響力があることが分かったので、これから自分を磨き、学び、成長し続けたい。(大学3年)
- 第1回のセミナーで、「わが子であれば」どうするかを考えることが大切だという話があり、それがずっと印象に残っていた。今回さらに、「わがことであれば」が加わり、「わがこと」であれば、どうするのかという視点を大切にする必要があるということを知り、意識していきたいと思った。自分もクラスの子をわが子のように愛することのできる先生になりたい。(大学3年)
- 教師は子どもに教える立場であるが、日々、子どもたちの取り巻く環境や社会は変わってくるので、教師も研修を通して、学び続けなければいけないと感じた。また、研修を通して自分自身を成長させたい。(大学2年)
- 何か困難な場面にあたったときに、一人で問題を抱え込むのではなく、仲間、同僚、そして組織の中の一員なのだという認識をもつ。(大学2年)
- 教師の身分は、全体の奉仕者であり、一部の奉仕者ではないため、憲法や法律、政令、条例などの法令も重要であることをもう一度再確認できた。(大学3年)
- 広島市が求める教員像について知ること、広島市で教員になるために身に付けるべき力を明確に知ることができた。(大学2年)

研修を重ねていくごとに、皆さんのやる気が具体的な実行につながっていることが伝わってきました。

<前回のセミナーから>

- 大学で行われた、教員採用試験に向けた春季セミナーで、特に生徒指導といじめ問題に関する話を意識して聞いた。(大学3年)
- 相手の目を見て話したり、共感しながら話を聞いたりした。また、相手の立場に立って物事を考えた。(大学3年)
- 教員採用試験の勉強を進める中で、子どもたちに適切な指導はもちろん、自分が食事中のお手本となるよう行動していくことも大切だと考え、箸の持ち方・好き嫌い等に対してより考え、改善していくようになった。(大学3年)
- 生徒の多様性や対応の仕方を学ぶため、スクールサポーターをしている方や学校の先生方から資料を借りて学んだり、質問したりした。(大学3年)
- 何事も前向きに捉えるように心がけ、日々笑顔で過ごせるように取り組んだ。(大学2年)
- 小学校でスクールサポートスタッフとして子どもたちと関わっている。また、現場の先生方のZoomのセミナーに参加した。(大学4年)
- 広島市のHPからダウンロードした資料をまとめて冊子を作り、時間があれば読むように心がけた。(大学2年)